

第6期経営改善計画

[2019年度～2023年度]

2021年度 実績状況報告書

〔 2021年4月1日から
2022年3月31日まで 〕



公益財団法人 神奈川県下水道公社

目 次

I	経営改善計画取組み項目	2
II	2021 年度の取組み実施内容	3
III	計画の進行管理（PDCA サイクルによる見直し）	8

第6期経営改善計画 2021年度実績状況報告

当公社では、2019年度から5年間で実施する「第6期経営改善計画（2019から2023年度）」を策定し、さらなる運営の健全化、効率化に向け経営改善計画を推進しています。

2021年度は、2020年度と同様に、一部、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い計画どおりに進めることが難しい項目もありましたが、第6期経営改善計画の3年目として、公社の経営方針に基づき、流域下水道の維持管理に関する業務、また、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究などを行い、県及び市町の下水道事業に協力し計画に掲げた項目の改善に取り組みました。

2021年度の実績は、以下のとおりです。

I 経営改善計画取組み項目

第6期経営改善計画は、2019年度から2023年度までを計画期間とし、7分類、33項目の取組み内容でスタートしました。

分類	改善項目
(1)維持管理の効率化	① 電気設備の運用方法の最適化 ② 沈砂池の自動運転の最適化 ③ 汚泥処理施設の集約化による運転管理業務等の見直し ④ 一括発注の推進（工事等） ⑤ 汚泥貯留地管理業務の見直し ⑥ 広場管理人員の削減 ⑦ 運転日報等の電子化の検討 ⑧ 入札方法の見直し ⑨ 効率的な事務執行
(2) 施設・設備の老朽化対策	⑩ 施設・設備診断による計画的な施設管理 ⑪ スtockマネジメント計画への参画
(3) 大規模自然災害等への対応	⑫ 業務継続計画（BCP）の策定 ⑬ 緊急時の配備体制の充実 ⑭ 防災備蓄資器材の関係機関との共同化
(4) 環境に配慮した最適管理	⑮ 「二軸管理」の導入の検討 ⑯ アンモニアセンサー活用検討 ⑰ リサイクルの推進 ⑱ 臭気対策への取組
(5) 市町への技術支援体制の充実	⑲ 関連市町への技術支援 ⑳ 事業場の排水担当者への研修会の開催 ㉑ 県、市町職員との技術交流の充実 ㉒ 市町下水道担当職員研修会の開催 ㉓ 新たな技術支援の検討
(6) 地域・県民との連携等による普及啓発	㉔ 地域と連携した普及啓発活動の実施 ㉕ 水再生センター見学会の実施 ㉖ 下水道出張教室等の充実 ㉗ キャラクター等の活用 ㉘ 下水道の価値や魅力の向上
(7) 人材育成・技術の継承・技術の研鑽と活力ある職場づくり	㉙ 人材育成 ㉚ 技術継承 ㉛ 調査研究 ㉜ メンタルヘルスケア ㉝ ワークライフバランスの推進

II 2021 年度の取組み実施内容

2021 年度に取組んだ分類ごとの主な実施内容は、次のとおりです。

〔取組み実施内容〕

(1) 維持管理の効率化	これまで蓄積した技術力やノウハウ等を活かし、変圧器の電力損失の削減や機器の自動運転の最適化など、効率的な運転管理により処理費の抑制に取り組みました。また、工事等の一括発注を推進するとともに、汚泥貯留地や上部利用施設の管理業務の見直しなどに取り組みました。
(2) 施設・設備の老朽化対策	老朽化が進む施設・設備の診断等を実施し、修繕計画の見直しに取り組みました。また、県のストックマネジメント計画に技術的な提案を行いました。
(3) 大規模自然災害等への対応	自然災害などの突発的な事故に対して、迅速・確実に対応できる体制を整備するため、実践に即した震災訓練などを実施し、各種マニュアルの見直しを行いました。
(4) 環境に配慮した最適管理	良好な放流水質を確保しつつ、アンモニアセンサーを活用した運転管理の検討など創意工夫することにより、エネルギー消費を抑え環境に配慮した最適管理に取り組みました。また、焼却灰等の全量リサイクルや臭気対策に取り組み、環境への配慮に努めました。
(5) 市町への技術支援体制の充実	市町が行う流域関連公共下水道の特定事業場等監視・指導などの技術支援を行いました。 また、県内市町下水道担当職員と事業場排水担当者の技術力向上を目指し、実務に即した研修会を開催しました。
(6) 地域・県民との連携等による普及啓発	各種イベントが中止になる中、下水道出張教室の実施校を増やすことで一層の普及啓発に取り組みました。
(7) 人材育成・技術の継承・技術の研鑽と活力ある職場づくり	計画的に職員を採用し、OJT 等を通じた人材の育成に努めました。 また、維持管理上の技術的な課題やコストの縮減などについて調査研究を行いました。

〔2021 年度実績集計表〕

表中の番号は「第 6 期経営改善計画 5 具体的施策」で数値目標を定めた項目で、2021 年度の実績集計は次のとおりです。

○経費縮減の数値目標に対する取組み結果

(1) 最適な維持管理							
項目	縮減額（単位：千円）						
	年度 目標 実績 達成率	2019	2020	2021	2022	2023	計
① 電気設備の運用方法の最適化	目標	△340	△340	△340	△340	△340	△1,700
	実績	△340	△340	△340			△1,020
	達成率	100%	100%	100%			60%
② 沈砂池の自動運転の最適化	目標	△160	△160	△160	△160	△160	△800
	実績	△160	△160	△160			△480
	達成率	100%	100%	100%			60%
③ 汚泥処理施設の集約化による運転管理業務等の見直し	目標	△3,830	△7,350	△7,350	△7,350	△7,200	△33,080
	実績	△3,360	△7,065	△7,350			△17,775
	達成率	88%	96%	100%			54%
④ 一括発注の推進（工事等）	目標	△7,000	△7,000	△7,000	△7,000	△7,000	△35,000
	実績	△14,460	△10,210	△21,300			△45,970
	達成率	207%	146%	304%			131%
⑤ 汚泥貯留地管理業務の見直し	目標	△1,500	△1,500	△1,500	△1,500	△1,500	△7,500
	実績	△1,500	△1,500	△1,500			△4,500
	達成率	100%	100%	100%			60%
⑥ 広場管理人員の削減	目標	△1,400	△1,400	△1,400	△1,400	△1,400	△7,000
	実績	△1,500	△1,478	△1,488			△4,466
	達成率	107%	106%	106%			64%
⑱ 臭気対策への取り組み	目標	—	—	△250	△250	△250	△750
	実績	—	—	△250			△250
	達成率	—	—	100%			33%
縮減額計	目標	△14,230	△17,750	△18,000	△18,000	△17,850	△85,830
	実績	△21,320	△20,753	△32,388			△74,461
	達成率	150%	117%	180%			87%

○経費縮減以外の数値目標に対する取組み結果

(2) 施設・設備の老朽化対策						
項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023
⑩ 施設・設備診断による計画的な施設管理	施設点検					
	目標	20%	40%	60%	80%	100%
	実績	20%	50%	76%		
	設備診断					
	目標	25%	50%	75%	100%	—
	実績	25%	50%	78%		

(3) 大規模自然災害等への対応						
項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023
⑬ 緊急時の配備体制の充実	震災訓練					
	目標	3回	3回	3回	3回	3回
	実績	2回	3回	3回		
	防災訓練					
	目標	2回	2回	2回	2回	2回
	実績	2回	2回	2回		
	水質異常初期対応訓練					
	目標	1回	1回	4回	4回	4回
	実績	1回	1回	4回		

(4) 環境に配慮した最適管理						
項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023
⑰ リサイクルの推進	焼却灰の有効活用					
	目標	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	100%	100%	100%		

(5) 市町への技術支援体制の充実						
項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023
⑳ 事業場の排水担当者研修会	事業場研修					
	目標	—	1回目	2回目	3回目	—
	実績		0回目*	2回目		
㉑ 市町下水道担当職員研修会の開催	市町研修					
	目標	4回	4回	6回	6回	6回
	実績	6回	0回*	6回		

(注) *代替手法として資料配布などで対応。

(6) 地域・県民との連携等による普及啓発							
項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	計
㉒ 地域と連携した普及啓発活動	夏祭り参加						
	目標	1回	1回	1回	1回	1回	5回
	実績	1回	0回	0回			1回
㉓ 水再生センター見学会の実施	見学会						
	目標	1回	1回	1回	1回	1回	5回
	実績	0回	0回	0回			0回

項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	計
②⑥ 下水道出張教室等の拡充	下水道出張教室						
	目標	23回	23回	23回	24回	24回	117回
	実績	23回	30回	59回			112回
	市町環境イベント						
	目標	7回	7回	7回	7回	7回	35回
	実績	15回	0回	3回			18回

Ⅲ 計画の進行管理（PDCA サイクルによる見直し）

1 進行管理

各項目の取組み結果については、PDCA サイクルによる継続的な見直しを行うこととしています。

計画の実施にあたっては、計画〔Plan〕に基づき実行〔Do〕し、取りまとめた結果について評価〔Check〕し、更なる改善〔Action〕に取り組ましました。

2 評価〔Check〕及び改善〔Action〕

2021 年度の取組み結果に関する評価〔Check〕及び改善〔Action〕は、次のとおりです。

(1) 経費縮減に関する取組み

経費縮減に関する取組みについて、2021 年度は、7 項目全ての項目で目標を達成し、経費縮減額の達成率は、180%となりました。

(2) 経費縮減以外の取組み

経費縮減以外にも、施設・設備の老朽化対策、大規模自然災害等への対応、環境に配慮した最適管理、市町への技術支援体制の充実など、取り組むことができましたが、一部で未達となった項目もございました。一方で、目標値を上方修正する見直しを行い、取組みを促進した項目もございました。

未達項目と目標値の見直しを行った項目については、次のとおりです。

ア 未達項目

未達項目の評価及び改善内容は、次のとおりです。

取組み項目名	取組み内容	目標	評価 (未達理由)	改善 (改善内容等)
		実績		
②④ 地域と連携した普及啓発活動の実施	地元自治会主催の夏祭りに積極的に参加して、下水道の普及啓発に努めます。	1 回	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、夏祭りが中止となったため。	夏祭りが開催される場合は、感染拡大防止策等を充分検討のうえ、参加します。
		0 回		
②⑤ 水再生センター見学会の実施	各水再生センターにおいて、見学者の増加に向けた積極的な PR や上部利用施設等の利用促進に努めます。四之宮水再生センターにおいては、桜の開花時期に合わせた施設見学会を開催し、下水道の普及啓発に努めます。	1 回	四之宮水再生センターにおいて、桜の開花時期に合わせた施設見学会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、開催を中止したため。	新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、開催に向けた準備を進めていきます。
		0 回		

取組み 項目名	取組み内容	目 標	評価 (未達理由)	改善 (改善内容等)
		実 績		
⑳ 下水道出張教室等の充実 (市町環境イベント)	市町開催の環境イベントに積極的に参加し、普及啓発に努めます。	7回	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、一部の市町環境イベントが中止となったため。	市町環境イベントが開催される場合は、感染拡大防止策等を充分検討のうえ、積極的に参加します。
		3回		

イ 目標値の見直しを行った項目

目標値の見直しを行った項目の見直し内容等は、次のとおりです。

取組み 項目名	取組み内容	見直し後の目標値	見直し理由
		当初の目標値	
⑬ 緊急時の配備体制の充実	緊急時に備え、実践に即した訓練を実施し、訓練結果を踏まえ各種マニュアルを見直します。	4回 〔 公社単独 1回 合同 3回 〕	水質異常初期対応訓練について、公社が単独で行う訓練に加え、連絡体制を迅速かつ正確に実施できるよう、県及び市町との合同訓練を継続して行うこととしたため。
		1回 〔 公社単独 〕	
㉒ 市町下水道担当職員研修会の開催	技術力の向上を目指し、実務に即した研修会を開催します。	6回 〔 一般、専門技術、管理者 3回 水質規制 3回 〕	市町の下水道担当職員研修会について、水質規制担当職員の意識と技術力の向上を目的に、実施時期を3回に分けて実施することとしたため。
		4回 〔 一般、専門技術、管理者 3回 水質規制 1回 〕	

3 PDCAサイクルによる見直し結果（2021年度）

2021年度は第6期経営改善計画の3年目となりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、いくつかの事業で未達となりました。次年度は、新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、これまでの取組みを踏まえ、計画に基づく各項目の達成に向け取り組んでまいります。